

## 一般職試験(大卒程度試験)

### 【専門試験(多肢選択式)】(土木)

「土木」区分は、工学の基礎に関する問題が20題、土木分野に関する問題が20題の計40題で構成されており、その全てを解答する必要があります。

土木分野に関する問題は、次のとおり出題されます。

- (1) 構造力学(土木)・水理学・土質力学・測量 11題
- (2) 土木材料・土木設計・土木施工 3題
- (3) 土木計画 4題
- (4) 環境工学(土木)・衛生工学 2題

#### <受験者へのメッセージ>

工学の基礎に関する問題は、大卒程度の基礎学力を確認する観点から、「数学」及び「物理」から、幅広い分野の問題が出題されます。



土木分野に関する問題は、分野の幅は広いですが、基礎的な知識を問う内容ですので、大学の専門課程で学習する基本的な教科書を中心に勉強するとよいでしょう。



構造力学(土木)、水理学、土質力学、測量では、計算問題が出題される頻度が高いですが、基本的な解法を理解していれば、大丈夫です。



教科書に記載されている土木分野に関する基礎的な用語の意味・内容を正しく理解しておく必要があります。

